

業績の現状と中期経営計画の進捗

テクノプロ・ホールディングス株式会社

2019/2/1

目次

Page

I : 中期経営計画進捗 2

II : 投資家からのご質問に対する当社の見解 12

III : 業績推移と市場のご評価について 18

1. 中期経営計画の概要 - 基本方針（再掲）

2018.6期-2022.6期の5カ年

（業績や外部環境に応じた機動的見直しが前提 -3年を目途- ）

「技術を核としたグローバル人材サービス企業」に向けて
（事業ドメインの拡大）

10年後を見据えた長期的な
企業価値向上を図る

エンジニアを育成し、
成熟・衰退産業から
成長産業への
失業なき人材移動を支える

2. 中期経営計画の進捗状況

(億円)

	17/6 実績	18/6 計画	20/6 計画	22/6 計画	CAGR -5年-
売上	1,000	1,090	1,350	1,600	10%
営業利益	96	106	135	170	12%
当期利益	77	76	90	110	7%
ROE*	30%	20%以上			-
技術者当り売上 (千円)	626**	635	644	655	1%
在籍技術者数 (人)	14,346	15,400	17,600	19,600	6%

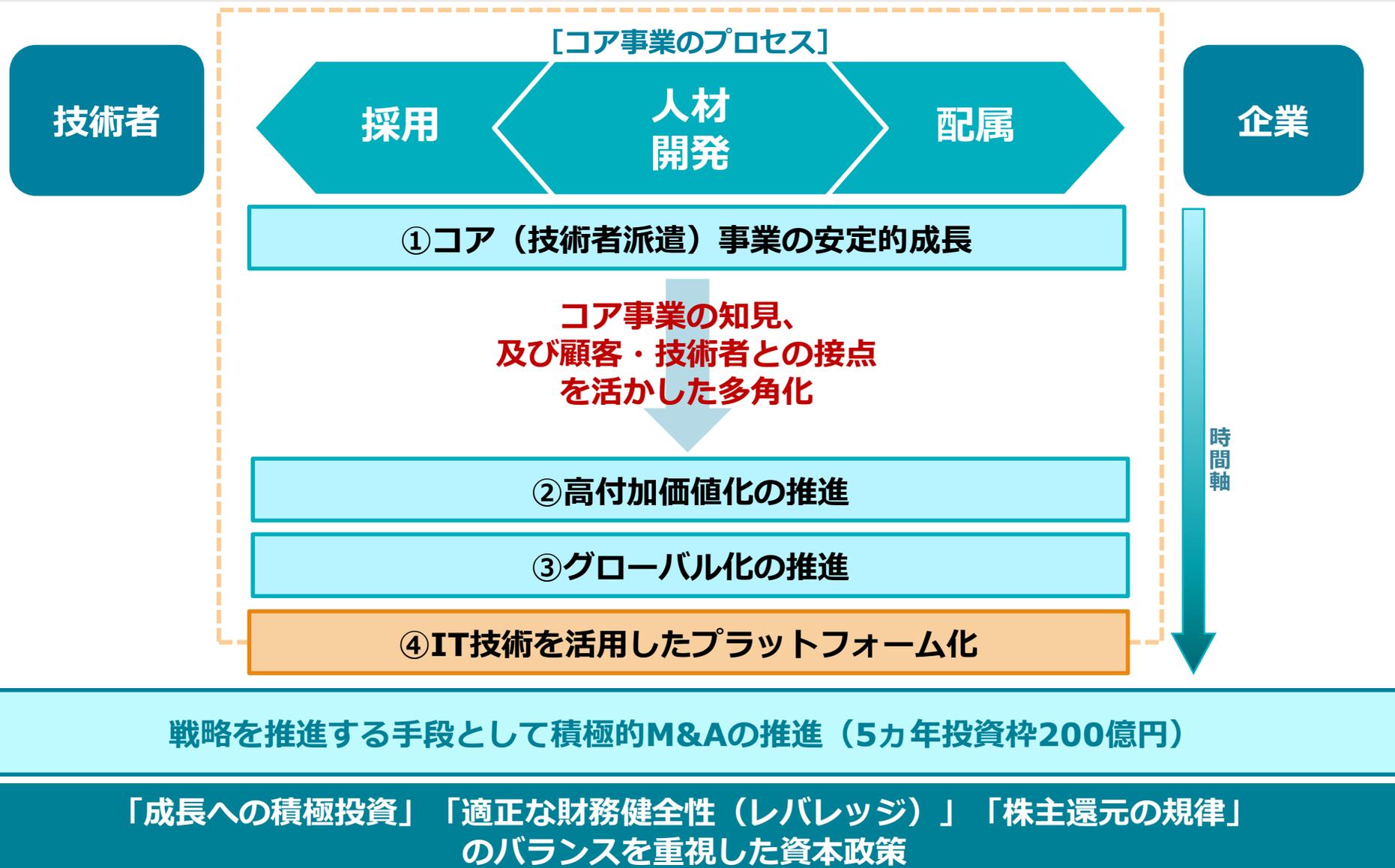


18/6 実績	YoY%	19/6 見込	YoY%
1,165	16%	1,350	16%
112	16%	135	20%
84	10%	89	6%
24%	-	21%	-
630**	1%	-	-
16,797	17%	18,000 以上	7% 以上

* 19/6期は期首BSベース、その他の期は期首期末平均BSベース

** (株)テクノプロ+(株)テクノプロ・コンストラクション

3. 中期経営計画の概要 - 成長戦略（再掲）



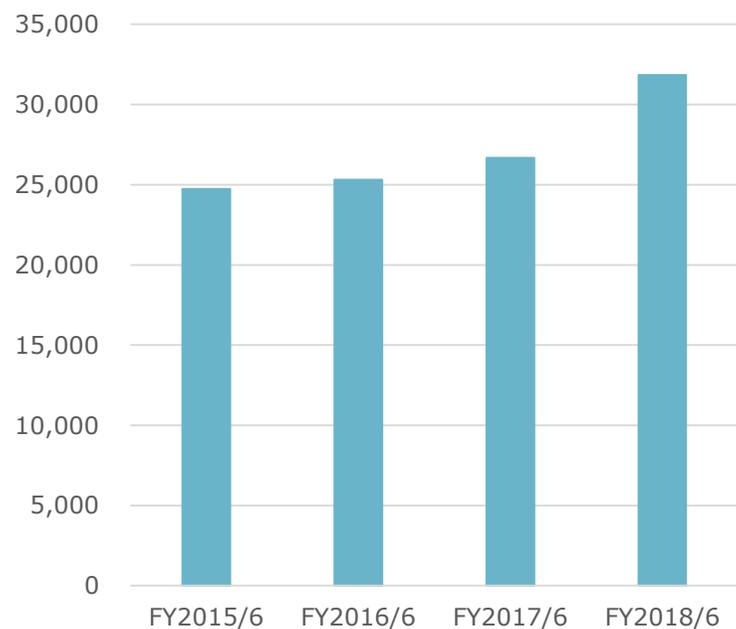
4. 中期経営計画の進捗状況 – M&A

	FY2016.6	FY2017.6	FY2018.6	FY2019.6
①コア（技術者派遣） 事業の安定的成長		テクノプロ・ エンベデッド (2016年12月) 機械/電子/組込	エデルタ (2017年10月) 情報システム テクノライブ (2018年3月) 機械/電子/組込	
②高付加価値化 の推進	ピーシーアシスト (2015年9月) 教育研修 オンザマーク (2016年3月) 情報システム		プロビズモ (2018年1月) 情報システム	エムアイシステム (2018年7月) 情報システム トクオ (2018年7月) 建築施工 ソフトウェアス (2018年11月) 機械/電子/組込
③グローバル化 の推進			Boyd&Moore Executive Search (2017年7月) 人材紹介 Helius Technologies (2018年3月) 情報システム	Orion Managed Services (2018年10月) 機械/電子/組込

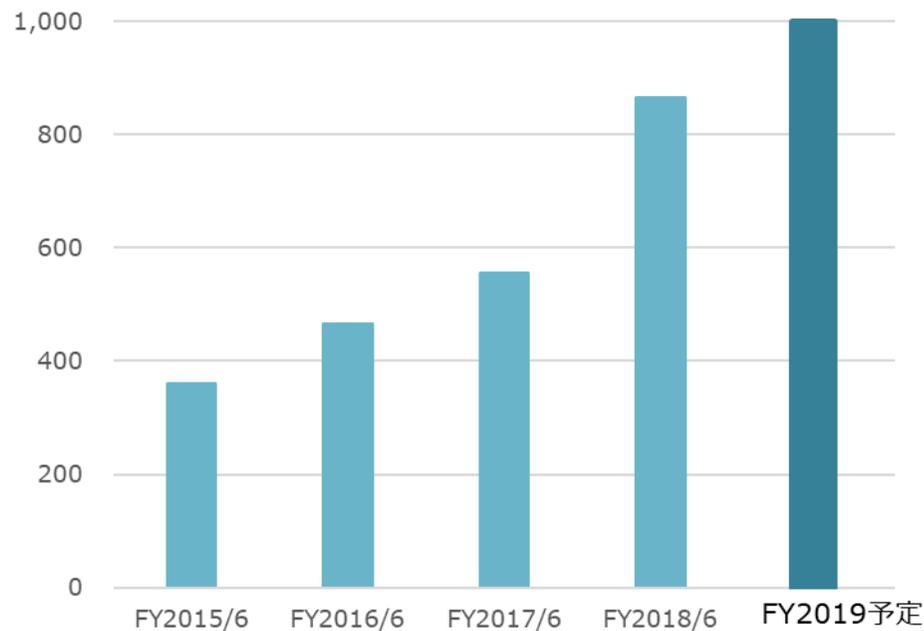
①コア（技術者派遣）事業の安定的成長

- ・ 第2四半期決算で既にご報告のとおり、上半期で1,744人採用（前年同期比 +13.8%）
- ・ 応募者・採用増により、採用費効率は今もむしろ改善している
- ・ 今年4月入社の新卒採用も、1000名を超える見通し
- ・ 採用が好調なため、M&Aは高付加価値化に注力

年間キャリア応募者数



新卒技術者採用数者数



②高付加価値化の推進

(株)ソフトウェアスの買収

- ✓ 東海地区で車載組込関連の請負事業を20年以上にわたり展開
- ✓ 技術者数：約40名
- ✓ 車載組込開発の上流工程に強みを持ち、高い技術・ノウハウを有する
- ✓ (株)テクノプロへ合併（2018/12/31）

(株)エムアイシステムの買収

- ✓ 大阪を拠点に基幹システム（SAP）開発保守・ビジネスアプリケーション及びWeb開発を行う
- ✓ 技術者数：約40名
- ✓ SAPビジネス設計・実現化の経験豊富なコンサルタント・SEを有する
- ✓ (株)テクノプロへ合併（2019/5/1予定）

(株)アイズファクトリーとの協業

- ✓ データ解析専門会社である(株)アイズファクトリーと協業し、データサイエンティストの養成プログラムを実施
- ✓ テクノプロ・デザイン社および(株)アイズファクトリーの顧客に対し、連携してデータ解析サービスの提供

RPA講座を開講

- ✓ Winスクール（ピーシーアシスト(株)）にてRPAテクノロジーズ(株)の協力のもとRPAの講座を新規開発
- ✓ RPAに対応可能な技術者を育成

※RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション：ロボットによる業務自動化）

③グローバル化の推進

既存拠点（テクノプロ中国グループ）に加えて、

日系企業海外拠点の支援

外国人活用の強化

を推進するためのグローバル拠点拡充



Orion Managed Servicesの買収

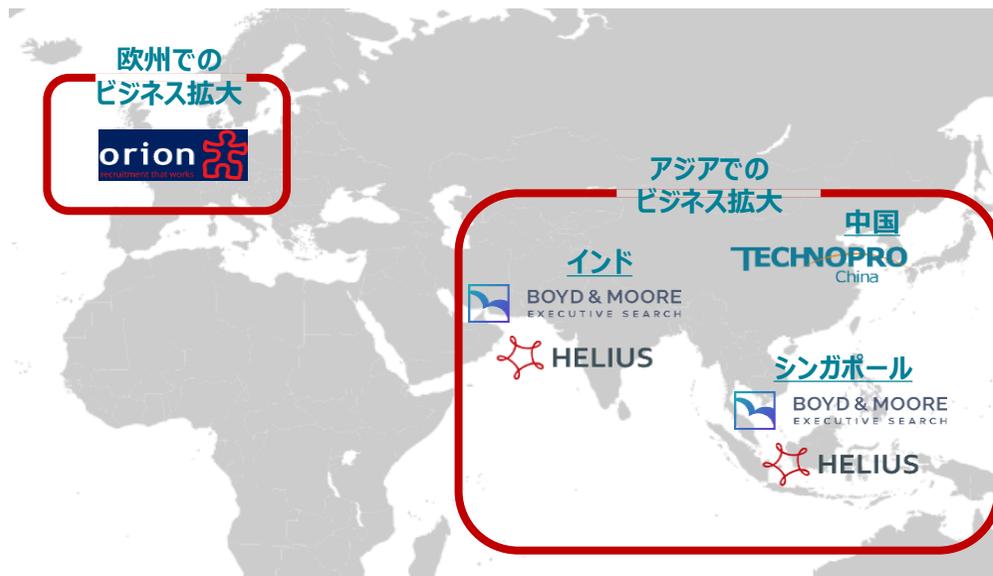
- ✓ 英国にて技術系の人材派遣事業及び人材紹介事業を展開
- ✓ 技術者約600名
- ✓ 英国日系企業およびアジア既存顧客への技術系サービス提供

Helius Technologiesの買収

- ✓ シンガポール・インド・タイにてIT系主体の派遣事業を展開
- ✓ 技術者約600名
- ✓ インドオフショア開発サービス拡大

Boyd&Moore Executive Searchの買収

- ✓ 東京・インド・シンガポールを拠点とするIT企業を主力顧客とするハイエンド人材紹介会社
- ✓ テクノプロ顧客への技術者紹介に加え、テクノプロの技術者獲得力強化



国内における
外国籍技術者

2015.6 実績	2018.6 実績	2018.12 実績	2022.6 目標
315	756	861	1,500

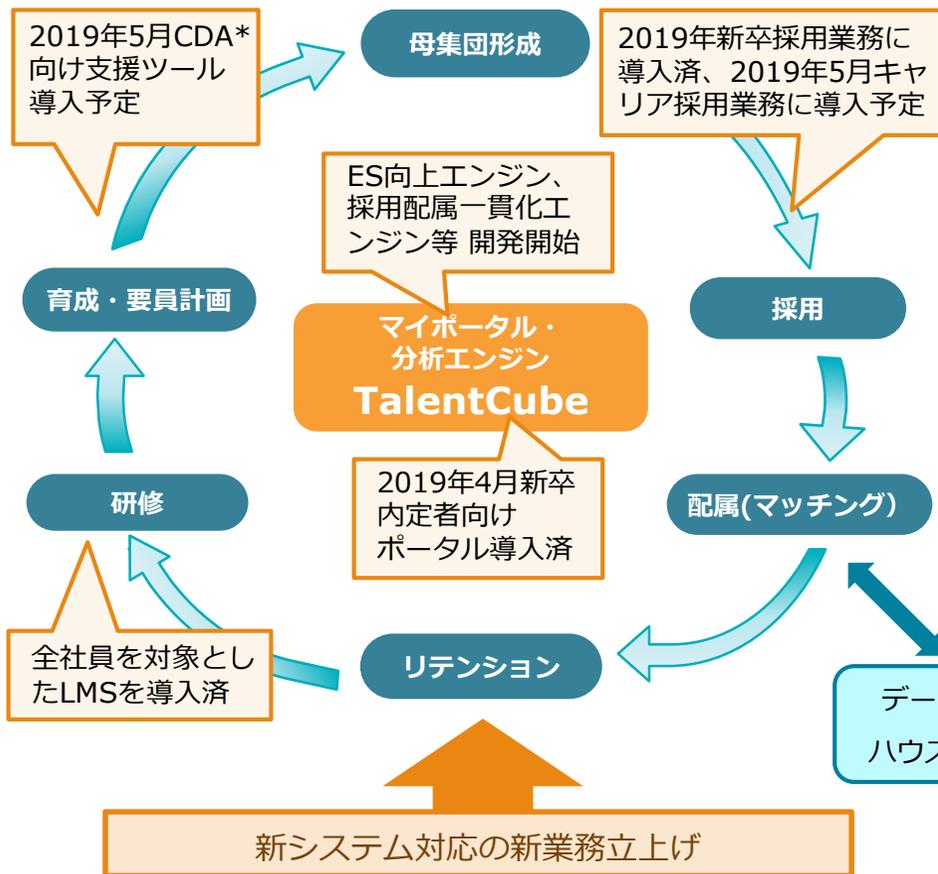
(人)

④ IT技術を活用したプラットフォーム化（攻めのIT構築）

コア事業のIT武装化により、企業と技術者のニーズに応える人材サービス提供を促進

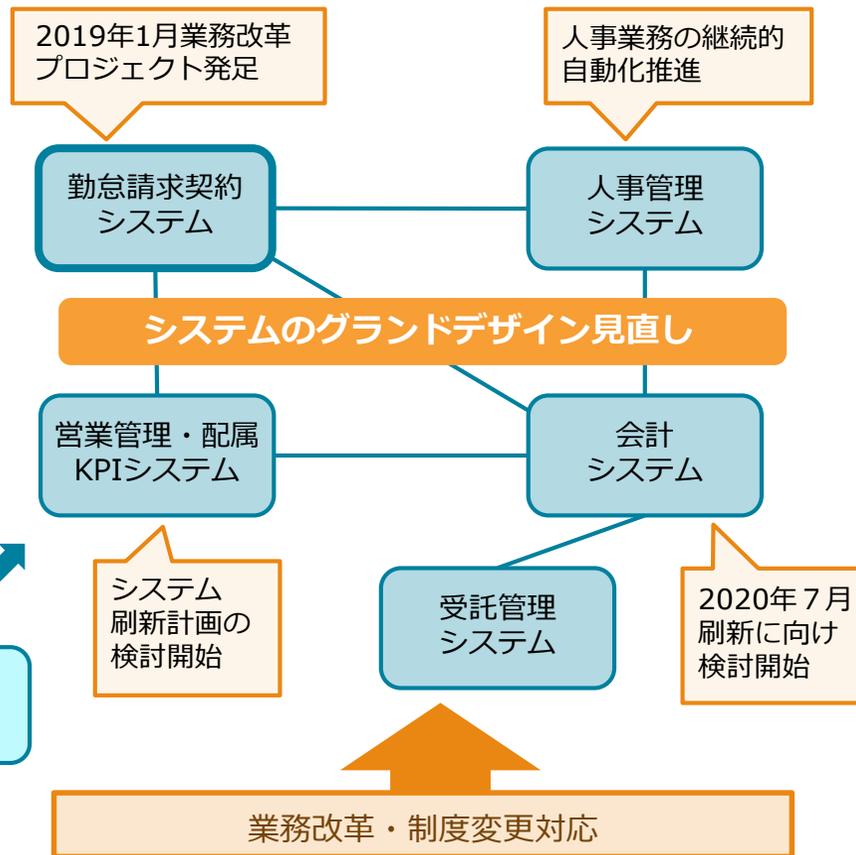
タレントマネジメントシステム

売上高・利益の拡大



業務改革

業務の効率化（販管費・原価の削減）



5. 今後の展開

2020年6月期の計画を1年前倒しでほぼ達成予定



成長戦略の進捗状況も踏まえ、中期経営計画を前倒しで改定する可能性も視野に。

目次

Page

I : 中期経営計画進捗 2

II : 投資家からのご質問に対する当社の見解 12

III : 業績推移と市場のご評価について 18

投資家からのご質問に対する当社の見解

1

足元の景気の影響

2

景気変動への対応力

3

採用市場の競争環境

4

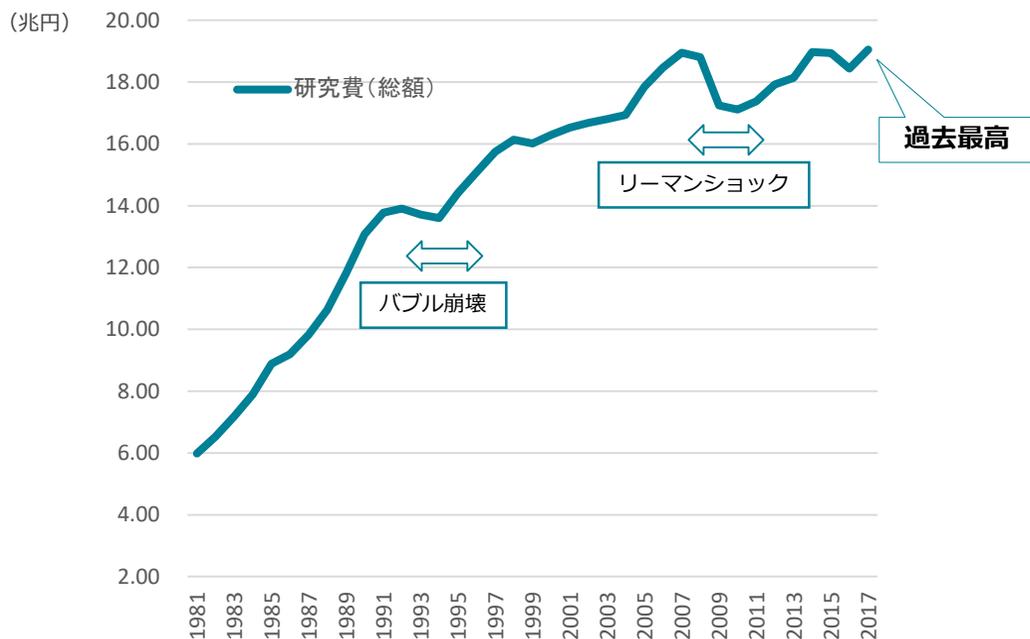
働き方改革の影響

1. 足元の景気の影響

- ・ 研究開発は、景気の影響を受けにくい分野
- ・ 個別顧客ごとに需要の濃淡はあるが、全体として受注状況に減速感はない

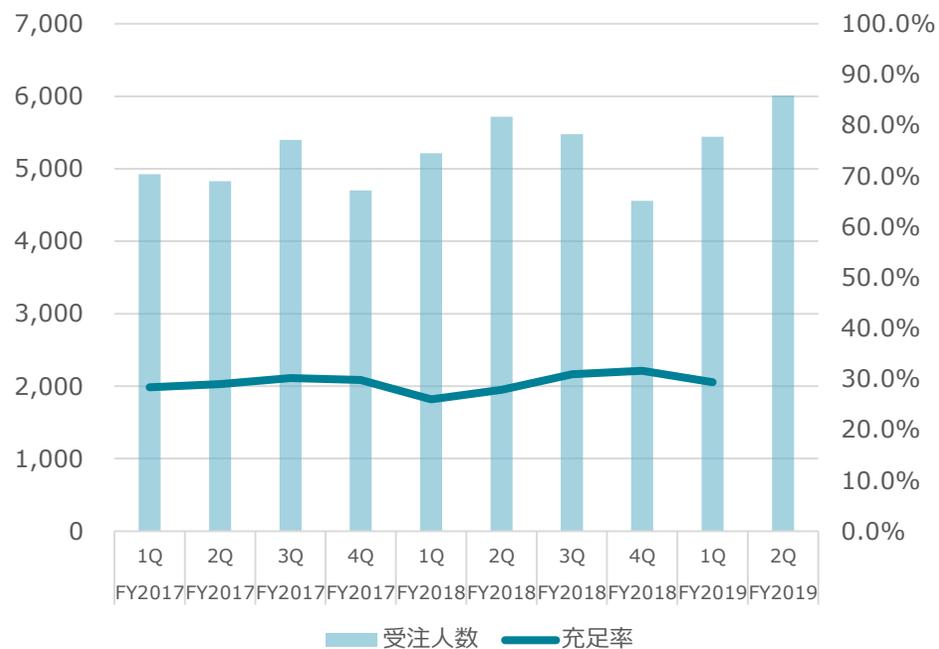
国内研究開発費の推移

出典：総務省統計局『科学技術研究調査結果』



受注状況推移

※受注人数は、一定期間内に配属可能性が高いなど、当社の基準を満たす引き合いをカウントしたもの



2. 景気変動への対応力

- ・仮に経済の減速があっても、景気変動の影響の大きい生産現場への配属は少ない
- ・稼働率の一時的低下に耐えられる財務体質

戦略的配属

IT

経済全体のソフトウェア化が進展し、需要は長期安定的に成長

機械
電気

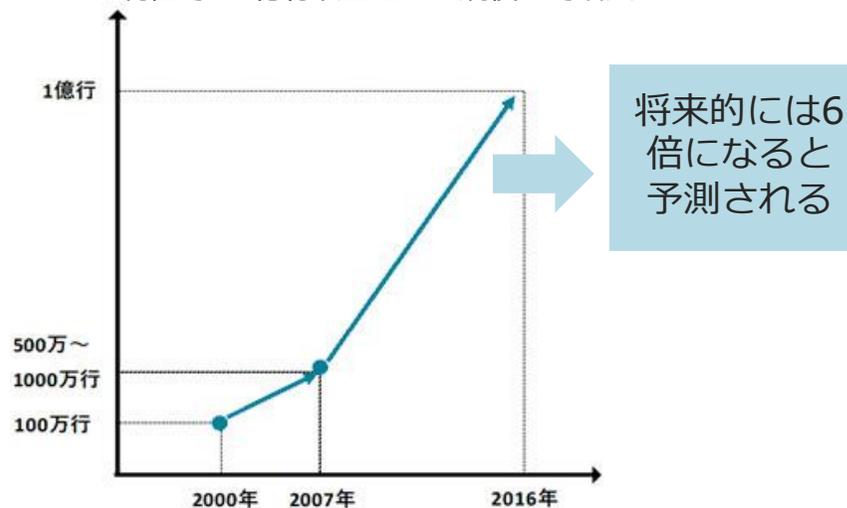
自動運転など、中長期の戦略に基づく開発計画による需要

建築

オリンピックに加え、万博、建築基準法改正など案件多数

ソフトウェアの複雑化

自動車ソフトウェアのソースコード行数
ー平成12年時点では100万行程度だったものが
現在では1億行以上という規模まで増大



<参考：他製品のソースコード行数>

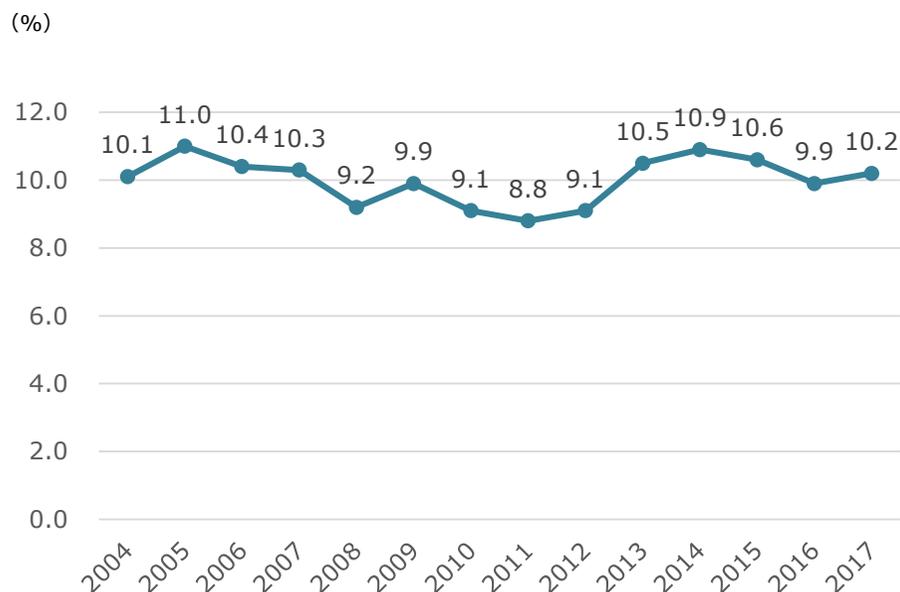
- Android OS:1,200万行
- F-35戦闘機:2,400万行
- Microsoft Office 2013:4,400万行

出所:経済産業省「ITによる生産性向上の加速化に向けて」、NXP

3. 採用市場の競争環境

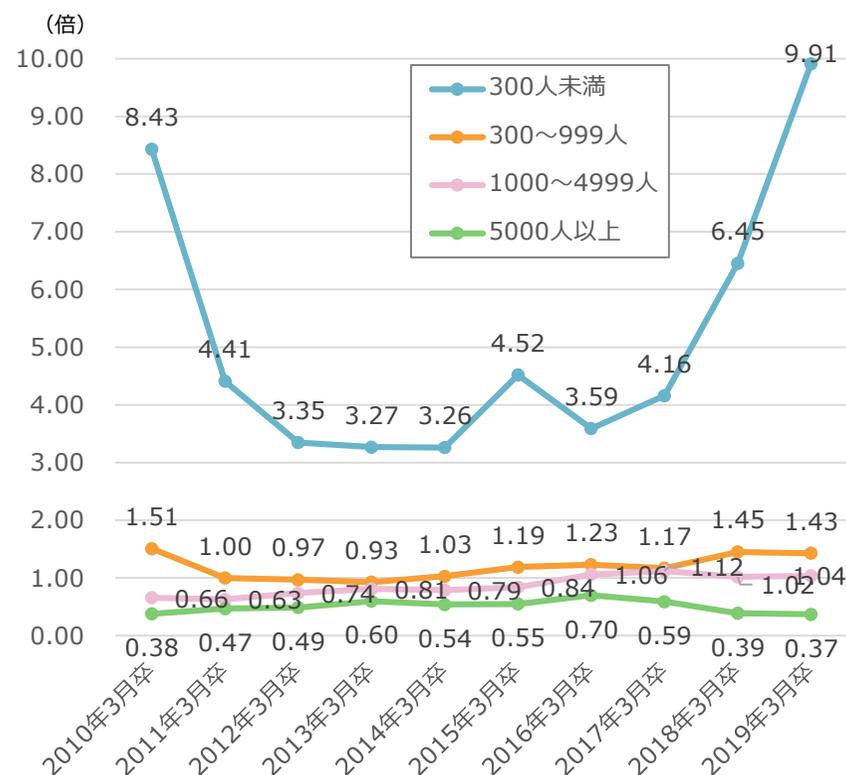
- ・ 四半期業績で報告の通り、採用は順調
- ・ 転職率はほぼ一定で推移しており、引き続き十分な候補者の確保は可能
- ・ 新卒市場における大手志向は益々強まっており、当社には追い風

転職入職率の推移



出典：厚生労働省『雇用動向調査』

従業員規模別 大卒求人倍率



出典：リクルートワークス研究所『第34回ワークス大卒求人倍率調査』

4. 働き方改革の影響

- 当社の勤務環境は既に良好であり、有給休暇、残業時間の法規制変更の影響は軽微。
- 正社員化が進展するとの見方もあるが、日本は技術者を自社で抱えず、アウトソースする割合が高い。よって、ITなど専門性の高い分野における外部リソースの活用が減ることはない。

当社の有給休暇取得率

(%)

2015	2016	2017	2018
65.0	68.8	71.3	75.0

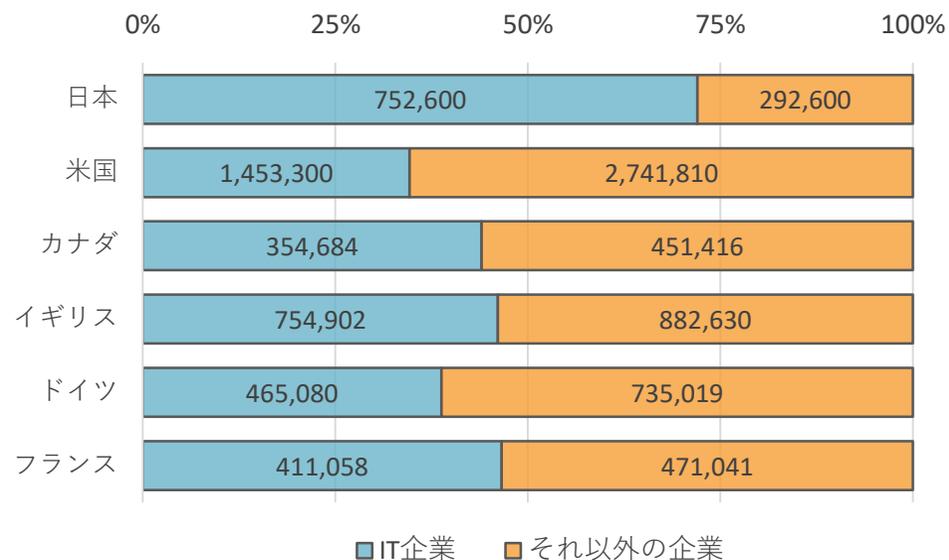
当社の平均残業時間数

(時間/月)

2015	2016	2017	2018
23.3	20.6	19.2	17.6

IT企業とそれ以外の企業に所属するIT人材の割合

※IT企業はITベンダー、それ以外の企業はITを使用するユーザー企業を指す
日本、米国、イギリス、ドイツ、フランス：2015年 カナダ：2014年



出典) 独立行政法人情報処理通信機構『IT人材白書2017』

目次

Page

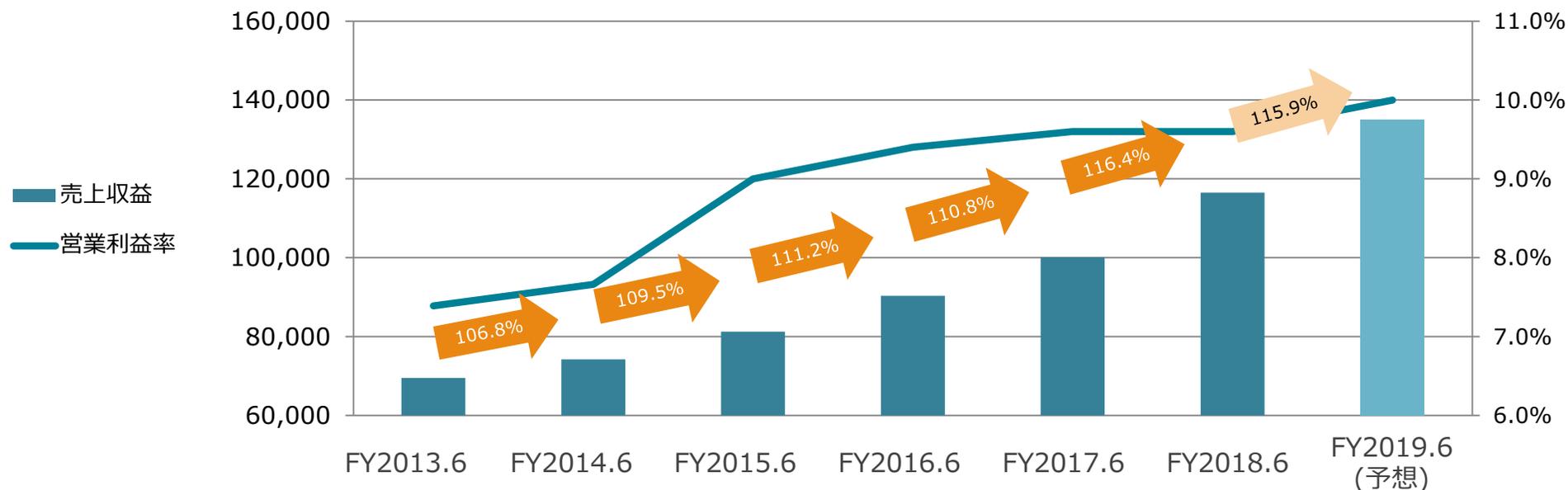
I : 中期経営計画進捗 2

II : 投資家からのご質問に対する当社の見解 12

III : 業績推移と市場のご評価について 18

業績推移と市場のご評価について

会社は市場の評価をコントロールできないが、経営として目配りをしている



売上収益 (百万円)

営業利益 (百万円)

親会社の所有者に帰属する
当期 (四半期) 利益 (百万円)

営業利益率

基本的1株当たり
当期 (四半期) 利益

売上収益 (百万円)	69,479	74,172	81,241	90,323	100,095	116,529	135,000
営業利益 (百万円)	5,136	5,688	7,283	8,494	9,647	11,238	13,500
親会社の所有者に帰属する 当期 (四半期) 利益 (百万円)	3,703	4,027	6,874	7,359	7,717	8,498	8,900
営業利益率	7.4%	7.7%	9.0%	9.4%	9.6%	9.6%	10.0%
基本的1株当たり 当期 (四半期) 利益	108.68	118.20	201.76	215.80	225.58	244.81	245.49

免責事項

当社は、現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成していますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、複製または転送等を行わないようお願いいたします。

TECHNOPRO

TECHNOPRO